# そらのとり

## 岩見沢聖十字幼稚園だよりＮｏ．１６

2015年１２月２日発行

**１２月の聖句「ひとりのみどりごが私たちのために生まれた。」**

**（イエス様の誕生）（新約聖書イザヤ書９章５節）**

## クリスマス献金について

チャプレン　司祭　池田亨

愛と平和の源であるイエスさまの御降誕をお祝いする、それがクリスマスです。「クリスマス」は、ことばの意味を解説しますと、「キリスト」と「ミサ」の合成語で、キリストを礼拝することに由来します。イエスさまは、貧しさのきわみのなかでお生まれになりした。福音書は、そのことを伝えます。そして、クリスマスに、この世界の貧しさに目をそそぐようにと促します。

きっと多くの方々は、こどものころ、クリスマスの夜、お父さんお母さんからおもちゃなどのプレゼントをもらった思い出をおもちでしょう。だれしも、プレゼントを受けることは、この上なく嬉しく喜ばしいことです。とりわけ、日ごろ、質素に生活するなかでのクリスマスプレゼントは大きな喜びをもたらすものでした。そして、喜ぶこどもたちの笑顔は、親たちのこころを喜びで満たしたのでした。

岩見沢聖十字幼稚園では、このクリスマスを迎える前の期間、困窮する世界の人々、こどもたちを覚えます。献金箱をつくり、おささげしています。昨年２０１４年は、パレスチナ・ガザにある「子供病院」のためにおささげしました。

わたしたちのできることは小さいです。しかし、遠い日本のこどもたちが覚えて、献金を送ってくださることに、おどろきと感謝をいただいております。

ことし２０１５年は、日本キリスト協議会教育部の「平和のきずな献金」を通じて東アフリカ（ナイロビ・ウガンダ他）の子どもの就学・就業訓練支援等のためにおささげします。

リーストコインで結構です。こころをこめて、おささげくださるなら幸いです。

イエスさまの降誕を祝う準備のなかで、世界の困難にある人たちを覚えることは、国とあらゆる隔てを超えて、わたしたち一人ひとりが世界の市民であるということ、その自覚と祈りへとみちびきます。

ご理解とご協力をお願い申し上げます。

## 年長さん　道立近代美術館へ

11月5日(木)は、ぐるんぱ号で札幌へ。年長さん、とってもお行儀よく作品を見て、おもしろい絵やきれいなガラス作品には、感動したり、ことばに出したり楽しみました。美術館の皆さんはとってもほめて下さいました。

**個人懇談ありがとうございます。**

お母さんたち、お父さんたちと先生方が、子ども達のことを相談し合う、子育てのための大事な場面です。さまざまなご意見を頂いて、私たちも身が引き締まる思いです。よくここまで話してくださった、と思うことや、ハッと気づかされることも多いです。そしてとても励まされています。先生方を信頼してご相談くださって、ありがとうございます。ひとりひとりの子どもたちの成長のために、一丸となって頑張ります。